

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第3回上尾市産業振興会議
開 催 日 時	令和6年11月27日(水) 10:00~12:00
開 催 場 所	上尾市プラザ22 第2会議室
議長(委員長・会長)氏名	河藤 佳彦
出席者(委員)氏名	河藤 佳彦、石川 泰正、大木 保司、神田 明美、池上 卓郎、 井上 克典、高野 正則、安藤 由美、市倉 育江、藤田 悟、 〈オブザーバー〉 栗原 邦夫
欠席者(委員)氏名	飯田 裕之、松本 猛、松村 稔、田中 宏幸、松本 弘子、 幸物 正晃、坂田 直人
事務局(庶務担当)	環境経済部次長 田中 商工課長 小川、商工課副主幹 今村、商工課主査 加藤、 商工課主事 三浦 農政課長 東、農政課主幹 互井
会 議 事 項	1 開 会 2 新任委員紹介 3 産業振興ビジョン策定支援業務受託事業者紹介 4 議 題 (1) 令和6年度の提言書に基づく施策について (2) 令和7年度の提言書の方向性について (3) 第2次上尾市産業振興ビジョン策定に係る事業者アンケートについて (4) その他 5 閉 会
会 議 資 料	別紙のとおり

議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和 7 年 3 月 31 日

会長の署名 河藤 佳彦

議事録署名人 井上 克典

議 事 の 経 過

事務局	<p>1 開 会</p> <p>皆さま、おはようございます。令和 6 年度第 3 回上尾市産業振興会議を開催いたします。本日の司会をさせていただきます上尾市商工課長の小川でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の進行につきましては、事前に委員の皆さまにお送りさせていただきました次第に沿って進めさせていただきたいと思いますが、お持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>事前に送付させていただきました資料といたしましては、資料の 1「令和 6 年度 提言書に基づく施策（令和 7 年度概算要求）」、それから資料の 2 としまして「令和 7 年度の提言書の方向性と議論すべき課題」、そして「令和 6 年度上尾市産業振興会議委員名簿」の 3 点でございます。よろしいでしょうか。</p> <p>次に加えまして、本日皆さまの机の上に、資料の 3 としまして「第 2 次上尾市産業振興ビジョン策定に係る事業者アンケート調査（案）」および「農業者アンケート調査（案）」、事業者・農業者アンケートを作成するにあたり参考としました資料が 4 点ございます。</p> <p>1 点目は、右上に令和 6 年度第 2 回上尾市産業振興会議資料と記載のある「第 2 次上尾市産業振興ビジョンについて」。2 点目は、令和 6 年度上尾市産業振興会議における意見をまとめた「事業者（農業者含む）アンケート・ヒアリング」、「次期ビジョンについて」。3 点目は、ビジョン策定作業部会の意見をまとめた「事業者（農業者含む）アンケート及びヒアリングについて」。4 点目は、事業者（農業者）アンケート意見書。以上 4 点でございます。追加の資料、過不足等ございませんでしょうか。</p> <p>配布させていただいている赤いチラシは、上尾市で昨年度から取り組みを推進しています「上尾串ぎょうざの食べ歩きマップ」でございます。参考に配付させていただきました。</p> <p>2 新任委員紹介</p> <p>それでは次第に沿いまして、次第の 2 番目になります新任委員紹介に入ります。本日の会議より新たに 2 名の委員の方にご参加いただくこととなりました。上尾市農業女性連絡協議会の神田明美さまにおかれましては、協議会よりあらためて委員の推薦がございまして委嘱するものでございます。続いて市民委員の市倉育江さまにおきましては、本年 8 月に実施させていただいた市民委員の公募の選考を経まして、委員に委嘱するものでございます。本来であれば市長から委嘱状をお渡しさせていただくところでございますが、公務の都合によりまして、恐れ入りますが机上配布をもって替えさせていただきたいと思ひます。委員の任期でございますが、皆さまと同じ令和 8 年 3 月末</p>
-----	---

	<p>までとなります。それでは恐縮ですが、神田さま、市倉さまからお一人ずつ自己紹介をお願いできればと思います。まず神田さま、お願いいたします。</p>
神田委員	<p>～自己紹介～</p>
事務局	<p>続いて市倉さま、お願いします。</p>
市倉委員	<p>～自己紹介～</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続けて、あらためて委員の皆さまのほうからも、お一方ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
参加委員挨拶	<p>～自己紹介～</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>3 産業振興ビジョン策定支援業務受託事業者紹介</p> <p>それでは次第の 3 番になります「産業振興ビジョン策定支援業務受託事業者紹介」に移ります。第 2 次上尾市産業振興ビジョン策定に係る支援業務の受託事業者といたしまして、この度、ぶぎん地域経済研究所さまに決定いたしました。ビジョンの策定の基礎情報となります産業に係る各種統計データ、本市の産業における個性や優位性などに関する基礎調査や分析を行っていただくこととなります。また、ビジョン策定予定の令和 8 年 3 月まで、本会議、それから庁内組織で構成されますビジョン策定作業部会にも同席をいただきまして、運営の支援に携わっていただきます。</p> <p>ぶぎん地域経済研究所さまは、越谷市の中小企業振興計画、久喜市の中小企業・小規模企業振興基本計画の策定にも関わられており、産業振興関連の計画策定に関する十分な見識と経験をお持ちでございます。当会議におきましても、これまでのご経験に基づき、積極的なご意見、ご助言をお願いしたいと考えております。それでは、改めまして、ぶぎん地域経済研究所さまから自己紹介をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
ぶぎん地域経済研究所	<p>～自己紹介～</p>
事務局	<p>ありがとうございました。こちら側が事務局一同になりますので、ちょっと自己紹介は割愛させていただきますが、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは議事に移ります前に、昨年度から検討を進めておりました令和 6 年度版の提言書につきまして、去る 8 月 20 日に河藤会長から上尾市長に提出を</p>

会長

されました。委員の皆さまにおかれましては、提言書の取りまとめに当たりまして、多大なるご協力を賜りましたこと、あらためて感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

それでは、これより議事に入りますが、本日の会議につきましては、委員 17 人の内、10 人のご出席をいただいておりますことから、本会議設置要綱の規定に基づきまして、委員の過半数の出席がございましたので、有効に成立していることをご報告させていただきます。

本日の議事でございますが、初めに令和 6 年度の提言書に基づきまして、来年度予算に向けて、事務局が検討し概算要求をしている施策について、現状の報告をさせていただきます。続いて、令和 7 年度の提言書の方向性について、および来月に実施を予定しております次期ビジョンの改定に向けた事業者および農業者アンケートの事務局案につきまして、委員の皆さまからご意見をいただければと思います。

それでは、規定に基づきまして、河藤会長に議事の進行をお願いいたします。

はい、承知しました。それでは議事の進行を務めさせていただきます。

議事に入る前に、本日の議事の正確性を証するために、議事録への署名を委員にお願いしたいと存じます。議事録署名人につきましては、名簿順に指名させていただくことになっておりますので、本来であれば、前回の池上委員に続きまして、田中委員にお願いするところではございますが、本日、田中委員がご欠席のため、続く井上委員にお願いしたいと存じます。井上委員には後日、事務局より議事録をお送りいたしますので、内容をご確認の上、ご署名をお願いいたします。ということで、ご了解いただけますでしょうか。ありがとうございます。では、私と井上委員ということで署名をさせていただきます。

4 議題

それでは議題に入ってまいりたいと思います。本日初めてご参加いただく委員もいらっしゃいますので、若干補足させていただきます。

(1) 令和 6 年度の提言書に基づく施策について

「令和 6 年度の提言書に基づく施策について」ですが、これは毎年 8 月に提言書をこの会議でまとめて、その後市長に提言をするというかたちを取っております。8 月ということの趣旨でございますが、役所は 9 月から予算要求の手続きが始まるということで、この会議からの提言を担当部局が活用できるようにという趣旨がございます。以上補足になります。それでは、議題 1 につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局	<p>事務局の商工課、今村でございます。議題1につきまして、私のほうからご説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず資料1の「令和6年度提言書に基づく施策（令和7年度概算要求）」の資料をご覧ください。中身につきましては、すでにご覧いただいている方もいらっしゃるかと思いますので、ポイントを絞ってご説明をさせていただきます。</p> <p>先ほど、ご説明いたしましたとおり、これまでの検討内容をまとめた令和6年度版の提言書を8月に市長にお渡しをしております。その提言書の内容を踏まえまして、事務局では来年度に実施すべき施策を検討して、現在、予算案として財政課と調整を進めているところでございます。そのため、今後の折衝いかににつきまして、内容に変更等が生じる場合もありますが、その辺はあらかじめ、ご了承いただければと思っております。</p> <p>それでは、提言書に基づき概算要求した施策につきまして、資料の①から⑩までを順にご覧いただければと思っております。「継続」と書かれているものにつきましては、本年度と同様に予算要求しておりまして、引き続き実施していくということでございます。ここでは、「拡充」あるいは「新規」と書かれているものにつきまして説明させていただこうと思っております。</p> <p>まず⑤の「創業応援補助金」でございます。この補助金は、市内での創業希望者を支援するために、創業時の費用の一部を補助するもので、上限20万円というもので実施しております。近年の総務省の統計でも29歳以下の起業者というのは増加傾向にあるとされております。本市においても、中小企業サポートセンターの創業相談件数は昨年と比べ増加傾向にございまして、今年度開催した商工会議所の創業準備セミナーというセミナーがあるんですが、こちらについても延べ32名の参加をいただきました。昨年度このセミナーを実施した際は11名の参加でしたので、創業希望者というのも増加傾向にあると感じております。こうした情勢を踏まえまして、来年度の創業者への支援として「創業応援補助金」の予算規模を増額、要求をしております。具体的には、今年度の200万円という予算を300万円ということで上乗せの要求をさせていただきます。</p> <p>次に、⑥の「事業者向けゼロカーボン推進事業」でございます。①のセンターの説明のところにも記載がございますけども、提言1の新たな社会課題への支援策ということで、市が本年度設置いたしましたゼロカーボン推進室と連携した新規事業でございます。</p> <p>事業者が脱炭素について学び、自社の温室効果ガスの排出量の可視化、あるいは省エネ診断を行った上で、環境への取り組みに関する計画というのを策定する、この一連の流れをパッケージ化した事業でございます。計画を策定した事業所は、脱炭素に向けた設備投資への補助金を申請できるスキームを検討しております。サポートセンターにおいては、ゼロカーボン推進室と連携し</p>
-----	---

て、脱炭素セミナーやワークショップ、こういったものの周知、開催というところの補助、また、専門家による環境への取り組みといったところの計画の策定補助、こういった支援体制というのを見込んでおります。

中小企業においては、カーボンニュートラルに取り組むことによって、エネルギーコストの削減や販売競争力の強化、取引先や売り上げ拡大といったメリットというものをご理解いただくとともに、また、取り組まないことによる今後のリスク、取引先から求められる環境対策といったものについても、これを機に考えていただきたいということで考えているものでございます。

続きまして⑩の「飲食店等のニーズマッチング事業」でございます。先日、市内飲食店約 300 店舗と市内農家約 120 軒を対象に、飲食店における市内農産物の活用についてアンケートを実施いたしました。回答の結果としましては、飲食店は 23 件、農家は 11 件の活用の希望というのがございました。飲食店からは、「提供できれば付加価値になる」とか、「上尾産の食材を上尾市民に食べてもらいたい」という地産地消の推進に積極的なご意見をいただきました。また、農家さんからは、「飲食店の皆さんに新鮮な地元の野菜を使っただきたい」、「お店の価値の向上に貢献できればうれしい」といったお声をいただいているところでございます。

このアンケート結果を踏まえまして、早速、来月に上尾市の特産品でありますキウイフルーツの生産農家と、その活用を希望する飲食店とのマッチング交流会を企画しております。地産地消への思いや、料理や農産物へのこだわり、それぞれの条件について情報交換をいただきまして、農産物の活用に向けた交流を行います。

来年度は今回のアンケートから活用希望が多かった農産物をメインに、複数回のマッチング交流会の開催を予定しております。飲食店と農家との事業連携、こういったところから新たな名物の開発や、上尾市の PR につなげていくというふうに考えております。

最後に、⑪の「中心市街地のにぎわい創出事業」になります。こちらにつきましては、その取り組みといたしまして、上尾駅東口の旧中仙道沿いを中心に、中心市街地の商店、あるいは神社仏閣を周遊いただきまして、楽しんでいただく電子版のスタンプラリー、AR スタンプラリー事業というのを実施しております。

この事業につきましては 10 月から開始をしております、これまでに延べ 1000 人程度のご参加をいただいているところでございます。来年度はこの事業の効果を検証した上で、さらにブラッシュアップを考えております、AR、新たなにぎわい創出を展開していきたいと考えております。

また、昨年度から上尾のご当地グルメとしての復活、定着を目指している「上尾串ぎょうざ」に関する取組についてご案内いたします。本日皆様に配布させていただきました「上尾串ぎょうざ食べ歩き MAP」のパンフレット、また

「上尾串ぎょうざフェス」のチラシをご覧ください。串ぎょうざフェスは、中心市街地でのにぎわいを創出するため、「上尾串ぎょうざ」の食べ比べをメインに、音楽やダンスなど大人からお子様まで楽しめるイベントを企画したものでございます。本年度は、第1回の開催といたしまして、4月に丸広百貨店様のご協力のもと、上尾市観光協会が主体となり、上尾市、上尾商工会議所が連携して開催いたしました。当日は約2,000人の来場者があり、埼玉県知事など来賓も多く、大変盛況でございました。約10年前に誕生し、昨年から新たに定義を変えて生まれ変わった「上尾串ぎょうざ」は、素材を串にさして、何かで巻いていけば、味付けも和洋中でもなんでも良いというもので、その珍しいコンセプトが目をはき、ラジオやテレビなどの取材も多く、各メディアで取り上げられ始めております。「上尾串ぎょうざ」参加店も現在では23店舗まで広がり、スイーツの串ぎょうざなど、各店舗で創意工夫をした多種多様な商品がラインナップしていることも大きな特徴となっています。来年度も、よりにぎわいが生まれるイベント、取組みとなるよう各関係機関と連携し、今後の展開も含め検討を進めてまいります。

議題（1）の説明は以上となります。

ありがとうございます。

本日の各項目の進め方ですが、議題（1）については、すでに提言を提出し、現在予算を要求している状況ですので、自由に意見をいただき、議題（2）はこれから提言をつくっていくため、委員お一人お一人からコメントをいただきたいなと思っております。議題（3）については、自由討論というようなかたちを考えますがよろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、ただ今ご説明いただいた「令和6年度の提言書に基づく施策について」、ご質問、ご意見、コメント、何でも結構ですのでお出しいただければと思います。

10と11に関してお伺いしたいことがあります。まず飲食店と農家のニーズマッチング事業について、これは飲食店ということですが、今、学校給食と農家さんのニーズマッチングを進めようとしている方々がいます。

飲食店と同様に、学校単位で農家さんと年間契約ができれば、農産物を安定的に生産・供給できるのではないかと思います。給食は安定的な食材活用の場であり、地産地消を進める点で賛同のご意見もあるので、来年度の予算には間

会長

●●委員

	<p>に合わないかもしれませんがご検討いただける余地はあるのかどうかお聞きしたいと思います。</p>
農政課	<p>農政課でございます。</p> <p>農家さんと学校給食のマッチングについては、すでに始めております。特段予算がかかるものではございませんので、農家さんと学校給食担当課である学校保健課の間に農政課が入り仲介をするようなかたちで進めております。</p> <p>最近、新規就農を始めた方も学校給食に納入したいということで、学校給食に特化した作物をつくっているような事例も出てきております、非常にいい取り組みでございますので、引き続き、こういった事業を進めていきたいと考えております。以上でございます。</p>
会長	<p>補足として教えていただきたいのですが、教育委員会は、このフレームの中で何か役割を担うことはあるのでしょうか。</p>
農政課	<p>学校給食は教育委員会の管轄となりますので、農政課と教育委員会が密に連絡を取り合い、このマッチングを行っているということでございます。</p>
会長	<p>あらためまして、●●委員、よろしく申し上げます。</p>
●●委員	<p>もう1点、ARスタンプラリーについて約1,000人が参加とのことですが、あまり広がりが出てないような、数値が少ないような気がして、これからどうするのかという点が心配になりました。「あげお健康+」も行われていますが、あちらもあまり広がっていない。その原因については、本来使っていただきたいご高齢の方々やお時間がある方がなかなかデジタルに追いつけていないという点があると思います。QRコードを読み取っても、その先のスマホとの連動ができなくて、さらに先に進めない。</p> <p>また、ARスタンプラリーも健康ポイントと連動して、しっかり使えるようにするところまでやっていただかないと、広がらないのではないかと思います。</p> <p>自治会のサロン活動などを通じて広めればよいのではないかと思います。もっとデジタルを使ってほしいなという世代への施策をプラスしていただきたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。重要なことですね。ITリテラシーを高めていくために、アドバイスやセミナーのような基本的なこと必要かと思いますが、その辺りについて事務局の見解はいかがでしょうか。</p>

事務局	<p>大変貴重なご意見をいただいていると思っています。今回の事業を始めたきっかけは、中心市街地で単発でイベントを行っても、一時的には人が流れる、回遊するのですが、なかなか恒常的なものに結び付かないというところから、試験的に実証的な取り組みとして始めたところでございます。</p> <p>また、開始当初は関心を持たれる方もいらっしゃるのですが、一度実施しようと飽きてしまうという現状がありますので、今は第一弾というかたちで 11 月末までの 2 カ月限定とし、クーポンや商品が当たるようなイベントを取り組んでおります。次回は第二弾というかたちで、より魅力がある事業にしていきたいと考えております。</p> <p>それと合わせまして、先ほどおっしゃられました「若い世代だけでなく幅広い年代が参加できるような仕組みも一緒に検討していきたいな考えているところでございます。ご意見ありがとうございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。●●委員がおっしゃったことは、例えば、ご高齢の方には IT 活用の入口のところで、なかなか入れないという方がいらっしゃるということだと思います。関心を高めるということも大事ですが、例えば、あげお お土産・観光センターに行けば、その使い方をサポートしてもらえるなど、いわゆるソフトの面での使い方のサポートも大事なかなと思います。そういうことも合わせてご検討いただくとよいのかなと思いました。</p>
●●委員	<p>うちの店舗の前にも QR コードを置いておりますが、確かに、開始当初はスマホをかざしている方や、利用の仕方について質問を受けたこともありました。QR コードはあるのですが、その使い方も近くに置いた方がよいと感じましたし、もう少し上手に広報をしたらよいと思いました。</p> <p>第二弾の際は、バージョンアップしていただきながら、実施していただければよいかなと思います。</p>
会長	<p>●●委員が言われたことも共通していると思いますが、操作方法や内容について聞かないで通り過ぎてしまう方がたくさんいらっしゃると思います。内容を充実させることと同時に、入口で入りやすいようにするためのイベントの案内やフォローの仕組みを考えると大変よいかなと思います。</p> <p>他に何かございますか。自由で結構です。</p> <p>では、私から 1 点申し上げます。</p> <p>6 番目の事業者向けゼロカーボン推進事業については、基本的には、中小企業向けの事業ということになるかと思えます。中小企業にとって、この事業を活用することのメリットやインセンティブについてしっかり分かるようにした方がよいと思いますので、留意していただけたらと思います。</p>

<p>事務局</p>	<p>環境対応がとても大事だというのは、みんな分かっているのですが、それを事業活動の中で実施することのメリットについて、特に事業者については理解していただかないと、なかなか積極的に参加していただけないということはあるかと思います。</p> <p>他になれば、2番目の「令和7年度の提言書の方向性について」に入りたいと思います。事務局からお願いいたします。</p> <p>(2) 令和7年度の提言書の方向性について</p> <p>それでは、議題2につきまして資料2をご覧ください。</p> <p>令和7年度に取りまとめます提言書につきまして、内容としては令和8年度以降に実施すべき施策になりますが、考え方のポイント、方向性について検討するものでございます。</p> <p>資料上段に掲載しておりますのは、中小企業・小規模事業者を取り巻く社会・経済情勢で、原材料価格の高止まりや継続的な物価の上昇、人件費の高騰といった、様々なコストアップの要因が経営を圧迫している面がございます。このような中、企業は、人手不足や借入金利の上昇、後継者の育成といった課題にも対応しながら売り上げを確保していく必要がございます。</p> <p>また、先ほど出ておりますが、カーボンニュートラルなどの新たな社会課題への対応というのも同時に求められてまいります。これら中小企業が抱える課題を解決し、事業を継続的に発展させていくためには、行政や支援機関の継続的なサポートが重要であると考えられます。</p> <p>検討するテーマでございますが、産業振興会議では設置当初よりこれまで、「中小企業支援」と「地産地消とにぎわいづくり」、この二つのテーマを検討してまいりました。その後、コロナ禍を契機に多様な中小企業支援というのが求められている状況が続いております。</p> <p>また、「地産地消とにぎわいづくり」に向けて、他業種連携などの取り組みを前進させているという状況にありますことから、事務局といたしましては、引き続き、この二つのテーマに沿って検討していきたいと考えております。</p> <p>「中小企業支援」については、前述の社会・経済情勢という点から、課題として、経営を圧迫する様々なコストの軽減、あるいは人手不足の解消、労働生産性の向上、産業全体の活力の再生といったものが挙げられております。</p> <p>このため、企業の技術力や供給力など、経営の基礎部分の強化、競争力を高めるための支援、生産性向上のための業務の効率化、省力化といったものに対する支援。また、人材の確保や育成といったことへの支援が必要と考えております。</p>
------------	--

<p>会長</p>	<p>組合です。創業は昭和 32 年で市役所の近所に組合の会館がありますが、私の中で上尾の工業の一つのシンボルではないかなと思っています。</p> <p>以前もお話ししましたが、工業については、一般の方には、この会社が何を作っているかと聞かれても分からないと思います。資料に書いてありますが、人手不足や労働人口不足については、市民が地元の会社に勤めていただき地元で生活をして買い物や飲み食いができれば一番よいのかなと思います。</p> <p>そのためには、様々な世代の市民が会社を見学する機会をつくり、どのようなものを作っているのかを知ることや、セミナーなどの情報提供の場も必要ではないかなと思っています。</p> <p>ものづくり協同組合は金属関係だけではなく、樹脂や食品なども含め、幅広い業種の組合員が所属する異業種の組合で、全国的にも珍しい組合だと自負しております。様々な業種間で情報交換をしながら仕事を進めているので、ぜひ地元の方に勤めていただけるようなフォローがあるとよいと思います。</p> <p>ありがとうございます。●●委員のご意見で連想したのは、オープンファクトリーという取り組みです。これに取り組んでいるところが、私が勤めている大学の地元の市にもあり非常によい取り組みだと思います。私も参加させていただいたことがあります。地元の方にもものづくりを知ってもらう機会はなかなかないので、市民の理解を得るということに非常に役に立っているのではないかなと思います。例えば、若干の騒音があったとしても、イベントに来ていただくと一定の理解が得られるということもお聞きしました。</p> <p>やはり、地域の産業をアイデンティティとして持つということは、それは地域への誇りにつながっていくということになるので、工業組合や行政との連携で何かできないのかなということですね。ご検討いただけたらと思います。</p> <p>それでは●●委員、お願いいたします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>方向性や支援のあり方については妥当かなと思います。</p> <p>金融機関の立場から言わせていただくとやはり金利です。借入金利は上がる一方だと思いますので、金利を含めコスト負担については、しっかり意識して経営していかなければならないと認識しています。</p> <p>資料の課題は総括的に書いてありますが、一社一社見れば課題はそれぞれ違いますので、この会社は、ここはネック、ここは強みだということをお互に見ていった上で解決していく必要があるかなと思います。そういった点では、中小企業サポートセンターという拠点がありますので、さらなる活用と、個別の支援を進めていくのがよいのかなと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>また、上尾市はゼロカーボンシティ宣言をされており、カーボンニュートラル対応を標榜されていると思いますが、中小企業の意識がまだそちらに向いていないのがほとんどかなというふうに認識しております。</p> <p>ただ、これからのことを考えると、例えば受注先から、こういうことをやっていないと御社には仕事が出せませんという時代が近々来るはずです。いずれ将来的には必要になるということや、脱炭素を進めることでコスト的なことも含めメリットについて知っていただく、意識の醸成が必要ではないかと思いました。</p> <p>「地産地消のにぎわいづくり」については、最近、農業法人や農業従事者の方のご相談が増えています。若い方で農業をやっていききたい、もっと増やしていきたいという意欲がある方はいらっしゃると思いますが、いい農地がなかなかないという意見も聞いています。遊休農地はあると思いますので、遊休農地を活用してうまくマッチングできるような仕組みがあれば、もっと農業が盛んになっていくのかなと思っております。</p> <p>ありがとうございます。重要なポイントばかりだと思います。一つは中小企業サポートセンターのさらなる有効活用ということですね。伴走型であったり、ハンズオン型というかたちで取り組んでいく中で、地域の金融機関は、非常に重要な役割があります。金融機関が非常に積極的に中小企業へのサポートや産学官連携に取り組んでおられると認識もしていますので、そこをお互いに有効活用できればよいかなということですね。</p> <p>それからゼロカーボンについてですが、やはり普及啓発という点においては、中小企業にとって何のメリットがあるのか。事業者は、結果的に事業にプラスになる、収益につながることを目指すことが当然のことだと思います。それがなければ、中小企業の場合は、単にCSRであったり、ボランティアであれば続かないということがあると思いますので、例えばセミナーや中小企業サポートセンターでアドバイスをするとき、必ずメリットについて触れることは非常に大事なことだと思います。</p> <p>それから、農地とのマッチングについてです。後継者不在への対策として新規就農支援については、熱心に取り組んでおられると思いますが、空き農地の情報とのマッチングは大事だと思います。</p> <p>農地については規制が多いので、なかなか難しい部分もあると思いますが、法律に則りながら柔軟に対応できるようなマッチングの仕組みには賛成です。ここはまだ手が届いていないのではないかと思います。</p> <p>それでは●●委員、お願いいたします。</p>
-----------	--

<p>●●委員</p>	<p>中小企業支援に関しましては、連携は非常に大事だと思います。現在、住宅の断熱関係で市環境政策課のゼロカーボン推進室が断熱セミナーを実施しており、既存の家の断熱が非常に大事なんだということを一生懸命伝えていきます。この事業者を通して頼めば安心なんだということが分かったので断熱を頼むときにもとても助かります。このような取り組みを積極的に市民に知らせていただきたいなと思っています。</p> <p>断熱などのゼロカーボンに関しては、国の補助金も出ていると思いますので、有効に使っていただきたいし、その他の補助金等の有益な情報についても積極的に提供してほしいと思います。</p> <p>地産地消については興味があります。ただ、新規農業に至っても、収入が伴わなければ2、3年で辞めてしまうことが多いと思います。農業単体で食べられるようになる政策はないのかなと思います。</p> <p>また、高齢化から農地を手放す方が多く、ソーラー畑に変わっていくのがすごく心苦しいです。市民農園としての活用とともに、新規就労者が増えればよいと思います。</p> <p>まちなにぎわいですが、丸広百貨店の中に図書館ができるというニュースが出ていました。とてもありがたいと思ったんですが、駅前のにぎわいづくりというのは、このように市民が集まるような図書館が出来たり、保育園のお遊戯会をするような場所があったりするところがあるので、撤退後の空き店舗や空き地を市として利用して、にぎわいづくりを創出することもできるのではないかと考えます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。3点ほど大きなポイントがあったと思います。</p> <p>一つは、ゼロカーボンの普及について、あらゆる機会で、色々な場所で、実践し伝えていき理解を得るということですね。</p> <p>二つ目は、新規就農者のために何をするのかについてです。上尾は都市型農業ですから商品作物として高付加価値化ということ。また、後継者がいない場合のマッチングと兼業農家的な部分を維持していける方法が無いのかということ。新規就農者を招致することは非常に大事なことだと思いますが、経済的にも持続していけるような支援を考えていく必要があるということですね。</p> <p>三つ目は土地利用のことです。土地利用計画とまちなにぎわいづくりは表裏一体の関係にあります。担当部署が違うと思いますが、土地利用の部署とは、しっかり連携や情報交流をしながら進めていただけたらと思います。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p> <p>●●委員</p> <p>提言書の方向性と議論する課題ということで、方向性については、資料に掲げていただいている内容で問題ないと考えます。</p>

特に課題のところ、コスト負担、人手不足、労働生産性の向上、活力の再生といったところに対して、さまざまな施策をこれから具体化されていくと思いますが、埼玉県産業振興公社でも色々と施策を実施しております。特に DX については、市内のスリーケ株式会社さんが埼玉 DX 大賞を受賞され、埼玉県知事から表彰されました。埼玉県産業振興公社の DX 担当のほうで、ずっとご支援させていただいており、さらに成果を出されたということでございます。埼玉県産業振興公社をご利用いただければ、こういった課題も解決していけるのではないかと考えているところでございます。

また、農業関係については、当公社でロボット支援を行っております。農業散布であったり、収穫用のロボットの開発をしております。現在、深谷市とも、色々と実証実験をしておりますので、もしご要望があれば一緒に実証実験をやらせていただくことで、農業者の課題も解決していけるのではないかと考えております。

また、創業支援についてですが、創業支援セミナーを開催したところ、昨年度 11 名から 32 名に増えたということで、創業ニーズが高まっているのではないかとのお話がありましたが、私が現在担当させていただいております創業・ベンチャー支援センター埼玉では、年間 3,600 件ほどの相談を対応させていただいております。過去 3 年間で 300 件の創業をしていただいております。

特徴的なのは、昨年度初めて、その半分が女性の創業者であったことです。相談の内容も、直近の 5 年ほどは女性からの相談、創業相談が増えてきておりまして、高崎線沿線が女性創業の気運が非常に高まっているということがあります。当公社では、女性創業支援に特に力を入れておりまして、先日も女性創業者だけが集まった交流会を開催させていただきました。非常に多くの申し込みがあり、参加された皆さんは、すでに創業されている方、これから創業しようという方々と活発に色々な意見交換をされておりました。県内各地域にもヒアリングをさせていただいておりますが、各地域でも女性創業相談が増えているということでございます。このようなニーズがあれば、私どももお力添えができると思っておりますので、ぜひ、今後とも一緒に支援ができればと思っております。

会長

ありがとうございます。

農業のスマート化や創業支援などについて、国や県の政策資源を有効活用していくことが非常に重要だと思います。

特に県は市町村と近いところにありますから、より親密に連携できると思います。もちろん中小企業サポートセンターがそのハブの役割を担うわけですが、様々なかたちでの連携については、行政がしっかりとアンテナを張り、つなげていくことだと思います。ぜひ有効活用していただきたいと思います。

<p>●●委員</p>	<p>それでは●●委員、お願いいたします。</p> <p>商業に関するDXにつきましては、電子決済やキャッシュレス決済の関係が ございます。大型チェーン店や通販等々は手数料が1%程度である一方、一般 の小売業は3・4%、飲食に関しては5%程度の手数料が必要になります。手数 料には大きな壁があり、なかなか厳しい状況です。</p> <p>さいたま市では7月から地域通貨導入に伴うスマホ決済が始まり、その担 当者とお話しする機会があったため状況を聞いたところ、「取り扱い店舗が思 ったより増えていないため、利便性が消費者にまだ伝わってないようです」と 言われました。上尾市でも地域通貨が導入されれば、商店、飲食業にとっても、 よい効果が生まれるのではないかと考えております。</p> <p>にぎわいづくりに関し、中心市街の回遊性の向上については、もう少し効率 よく人が動くようなかたちをつくっていただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>キャッシュレスにする場合の事業者の負担や維持費用の負担が大きな課題 としてあるということは、私も別のところからもお聞きしております。</p> <p>制度の壁があるということですが、キャッシュレス普及をサポートするた めの様々な情報を集めることは市もできることだと思います。これはぜひご 検討いただけたらと思います。</p> <p>それでは●●委員、お願いいたします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>遊休農地について、その農地の借用を希望する人はいると思いますが、素性 が分からない人に貸した後にトラブルになることを危惧している農地所有者 は多いと思います。公的な機関からの紹介があれば安心して貸せるというこ ともあるかもしれません。</p> <p>市や公的機関が仲介するようなマッチングの支援の仕組みをつくっていた だきたいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>貴重なご意見だと思います。空き屋バンクもそのような趣旨ですね。公的な 機関が入ることによって、貸し手借り手のリスクを軽減するということです。 この場合は、公的な主体が登録条件などについて、しっかりチェックしてリス クを管理していくということが必要ですね。</p>
<p>農政課</p>	<p>農政課でございます。農地の貸し借りににつきましては、国で法律を改正しま して、県の農林公社が間に入り中間管理機構（農地バンク）という組織をつく りまして、そこが貸し手と借り手の中間的な受け皿となり、貸し借りをを行うこ</p>

<p>会長</p> <p>●●委員</p>	<p>とになりますので、安心して委ねることができると思います。今後積極的にPRしていきたいと考えております。</p> <p>既存の制度をPRしていくことは、非常に大事なことだと思います。それでは、●●委員、お願いいたします。</p> <p>仕事柄企業の会計を見ているので、そちらの見地からお話をさせていただこうかと思えます。</p> <p>●●委員が手数料の話をされましたが、これまでの支払方法は現金かクレジットカードが多かったと思います。そこにQR決済のような第三の支払方法が入ってきて、店の業種にもよりますが、現金以外の割合が7割、8割というような現状も決して珍しくない状況です。</p> <p>病院でもQR決済ですので、知り合いの開業医も診療報酬が下がり、売り上げが下がっているのに、さらにQR決済で手数料も取られ、踏んだり蹴ったりだというようなことを言っています。手数料という問題が事業者にとって非常に大きくなっているというのは、私もまったく同感であります。</p> <p>ただ、QR決済を導入しないと、お客さんが来てくれないので、やむを得ず導入しているところだと思います。なかなか難しいかもしれませんが、そういったことに対しての何らかの支援等があればありがたいことではないか思います。</p> <p>コロナ禍を経て、色々な数字を見ていると、売り上げ的には大分戻ってきているかなと思います。しかし利益が増益になっているのかといえば、決してそうではなく、むしろ利益的には増収減益がトレンドかなと思っております。</p> <p>●●委員がおっしゃったように、金利の上昇は致し方ない流れだと思います。それ以外にも人件費の高騰、原材料費の高騰、社会保険料など色々なものがコストアップしていますので、売り上げが増えても、なかなか利益に結び付かないというのが今の企業を取り巻くマクロ的な環境ではないかなと思っています。</p> <p>特に人手不足に関しては、募集をかけても人が来ない、広告を出しても来ないと多くの企業の社長がおっしゃっています。時給や給料を上げれば人が来るということではなく、そもそも人がいないんだと思っています。</p> <p>市内の高校や大学とのマッチングをさらに強化する、あるいは、ハローワークと事業者との間に市や銀行が入り、労働をしたいという人と労働を求める側とのマッチングを支援する取り組みができたらいいなと思っております。</p> <p>また、価格転嫁については、特に中小・零細企業はできてないのかなと思っております。原材料費は上がっていても、取引上の障害が発生するのではないかなというような懸念から、なかなか上の企業に対して値段交渉ができないと</p>
-----------------------	---

会長

思います。勇気を持って価格転嫁をできるような体制を、行政との中でうまくできるような仕組みづくりができればよいと思っております。

はい、ありがとうございます。

一つはキャッシュレス化に伴う商業者の方の手数料の課題ですね。大きな課題だということです。しっかり情報を収集して方策を検討するということですね。

人材確保については、多面的に、また様々な機関が連携しながら進めていくことが必要であろうということですね。

価格転嫁の課題は、基本的には国の施策や規制、勧告などがありますので、市でなかなか難しいところがあると思いますが、やはり買い手売り手の両方に、正常な価格転嫁ができるということは非常に大事であるということを普及啓発することはできるかと思っておりますので、ご検討いただけたらと思います。

それでは●●委員、お願いいたします。

●●委員

方向性と課題については、これでいいのではと思います。提言 1 に関していえば、昨年まで私は創業・ベンチャー支援センター埼玉でアドバイザーをさせていただいており、女性創業希望者やすでに経営している経営者の方、両方の相談に乗っていました。相談に来て補助金や助成金の情報を知るという方が多くいて、新しい補助金や制度について知らない方が特に多い印象でした。

商工会議所に属している方であれば、情報やお知らせが来ることで知れるかと思いますが、属していない方は情報が回ってこないなので、セミナーを開催するなど、広く情報の認知度を上げるきっかけづくりや取組みが望ましいと思います。

中小企業サポートセンターについては、個人事業主の方は中小企業じゃないから相談に行けないのではないかと考えている方もいらっしゃいます。個人事業主でも相談できることの認知が広がると、利用率も上がると思います。

提言 2 に関していえば、私の専門業がイベント企画というところもあり、ニーズマッチングの事業はすごくいいなと思います。知り合いの飲食店さんも、こういうのをやりたいけど、どうしたらいいかなと悩んでいる方もいたので、市が仲介に入ってくると話が進んでとてもいいなと思います。

飲食店ではなくても、例えば農産物を使って何かを作りたい、お菓子を販売したい、あるいはリンゴのジャムをつくりたいなど、そういうニーズもあると思うので、飲食店に限らず参加させてもらえたら、私はぜひ参加したいなと思います。

中心市街地のにぎわい創出に関しては、上尾串ぎょうざの施策も、すごく盛り上がっていいなと思います。ただ、一貫性というか、一時的なイベントで、その時は盛り上がるけど、次に盛り上がるのは翌年のような感じになってい

<p>会長</p>	<p>ると感じます。例えば大宮ナポリタンは、イベントもやるけど、お店に行けば大宮ナポリタンが食べれる。通年通して食べれるとか。富士宮焼きそばとか餃子もそうですが、イベントもやるけど通年通しても、これを食べに、そこのお店に行こうとか、そういう継続した施策のようなものがあると、集客やイベントの企画もスムーズになって、よりいいのかなという気がします。</p> <p>先ほど●●委員がおっしゃったオープンファクトリーは、すごいニーズがあると思っていて、埼玉県で開催されている企画でも、客が多くて入りたくても入れないものもあります。SNSでも工場見学、ものづくりというところにニーズがあると思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>創業支援は非常に大事になってきていますので、セミナーの実施や中小企業サポートセンターの活用について、広報誌をはじめ、一般の方が目を通す媒体を使うことが有効ではないかなと思います。</p> <p>それからイベントの連続性ですね。これも非常に大事だと思いますので検討していただけたらと思います。</p> <p>それではオブザーバーをお願いします。</p>
<p>オブザーバー</p>	<p>カーボンニュートラルの啓発として市役所と連携してセミナー等を実施しております。商工会議所会員の約 2450 社にチラシを送っておりますが、当初申し込みがあるのは 3 件から 5 件ぐらいです。積極的にお声がけさせていただいて 10 社程度で、30 社集まれば集まったなという感じです。セミナーの開催時間を夕刻や夜間にしたほうが集まりやすいという点もあるかもしれません。</p> <p>県のトラック協会さんが SDGs をテーマにしたセミナーで、吉本興業の芸人さんと損害保険会社のアドバイザーと掛け合いをしながら、ワークショップを進めて完成品となる宣言書のようなものをつくる企画をしていましたので、これを参考に、これまでとは違うかたちで SDGs やカーボンニュートラルのセミナーを実施していきたいなと思います。</p> <p>中小企業支援の人材確保の部分ですが、どの企業も求人を出しても人が来ないという状況かと思えます。特に新卒で若い方は SDGs や環境対策について学校でよく習っていますので、応募してみようと会社のホームページを見た際にこのような取り組みをしない会社にはエントリーシートを出さないような方もいらっしゃるということです。SDGs、カーボンニュートラル、働き方改革、そういったところをクリアしていかなければ受け入れられない状況になってきていると思います。。</p>

<p>会長</p>	<p>の活性化ですから、ポイントに寄って滞留していただきお店が賑わう。まず試験的に実施しておりますが、あらためてこのような視点で展開していければと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今の取り組みが、皆さんのご意見の中で、どういう位置づけにあるのかということですね。整理していただけたかと思います。この会議は皆さんの色々な叡智を結集して、できるだけ提案していただいて、整理をして、そして施策に反映していくということです。多くの情報をいただきましたので、提言につなげていただけたらと思います。</p> <p>それでは、次の項目に入りたいと思います。</p> <p>(3) 第2次上尾市産業振興ビジョン策定に係る事業者アンケートについて</p> <p>アンケート調査、これについての、議題3、「第2次上尾市産業振興ビジョン策定に係る事業者アンケートについて」ということで、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、ご説明させていただきます。アンケート案を見ていただく前に、参考としました資料をご覧いただければと思います。本日お配りした資料になります。</p> <p>まず一つ目は、昨年度の第2回の会議資料になりますが、「第2次上尾市産業振興について」という資料でございます。こちらは昨年度、当会議において現行ビジョンの評価、検証を行い、次期ビジョンにおいても必要性が高いと評価された施策や、今後の課題といったものについて、商業、農業、工業、観光と各分野別に課題をピックアップしたものでございます。こちらの項目は、現行のビジョンから得られたものを次期ビジョンへつなげるという重要なポイントとなってまいりますので、あらためて共有をさせていただきました。</p> <p>もう一つ、資料としましては、「事業者アンケート・ヒアリング」、「次期ビジョンについて」でございます。こちらも前回会議におきまして、委員の皆さまからいただいたご意見をまとめたものでございます。内容が多かったものですから、羅列しているようなところもありますが、皆様からいただいたご意見、それと前回の会議で欠席された委員さんからも、ご意見を頂戴いたしましたので振り返りも兼ねて、お配りさせていただきました。</p> <p>最後に「策定作業部会 意見まとめ」という資料でございます。次期ビジョン策定に当たりましては、庁内に本会議と並行する作業部会を設置いたしました。上尾市総合計画や都市マスタープランなどの基幹計画と整合性を図ること。あるいは、市民生活、SDGs、ゼロカーボンの新たな要素というところも</p>

<p>会長</p>	<p>施策として、具体的に検討していかなければならないため、庁内の職員をベースに組織したものでございます。</p> <p>関連部署としましては、シティセールスを所管する広報広聴課や総合計画を所管する行政経営課、マスタープランを所管する都市計画課、また、先ほどから出ておりますゼロカーボン推進室、事務局の農政課と商工課にて組織されているものでございます。</p> <p>今月 13 日に第 1 回の作業部会を開催し、このアンケートに関する意見を聴取させていただきました。その内容を取りまとめたものがこちらの資料となっております。アンケートを見ていただきますと、2 枚目までは商工業関係となっており、3 枚目は農業関係となっております。</p> <p>以上の 3 点を踏まえまして作成したものが、お手元でございますアンケート案でございます。商工業者向けのアンケートと、農業者向けアンケートの二つに分けたかたちとなっております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>限られた時間の中で皆様からご意見いただきたいと思いますので、少しポイントをお話したいと思います。</p> <p>まず、事業者アンケートをざっと見ていただいて、このアンケートについての印象について忌憚のないご意見をいただきたいと思います。</p> <p>少し補足しますと、このアンケートは、新しい計画をつくるために有効活用するということになります。初めて委員の皆さんが見ていただいたときに、その意図がしっかりと伝わるかということについてのご意見をいただきたいと思っています。いかがでしょうか。</p> <p>意見が出にくいということであれば、私の私見を述べさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>昨日、事務局から、別の会議の関係があり当アンケートを拝見しました。そのとき思いましたことは、各項目は確かにいいと思いました。ところが、率直に言いまして意図が伝わってこない。何を求めているのかということが理解できなかったんですね。</p> <p>それはなぜそう思ったのかというと、農業についても共通ですが、なぜこの内容となり、政策について問われているのかということが分かりにくいということです。</p> <p>最初の表紙のところは、総括的に新しいビジョンをつくるためということが書かれています。これはこれでいいと思うのですが、具体的になぜこれだけの項目が出てきたのかということがよく分からないと感じます。</p> <p>もう一つ踏み込んだ提案を私からさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
-----------	---

<p>●●委員</p>	<p>何が分かりにくいかというと、これからどういう方向で、この新しいビジョンをつくっていききたいのかということの総論は分かるのですが、各論のこの部分については現在このように考えている、だから、このようなことを聞くんですよと示し、特に政策に係る部分について整理をしたらどうかと思います。</p> <p>そのためには、政策の部分に入るところでその趣旨を伝えることがいいのではないかということです。</p> <p>事務局のほうで、産業振興会議として、こういう議論をしてきたということを文章で整理していただいて、それに基づき少し質問項目も整理していただいて、あらためて作成した段階で、委員の皆さんにも見ていただくということでいかがでしょうか、忌憚のないご意見をいただけたらと思います。</p> <p>上尾が中心なので、他の自治体などは別にして、上尾をこれからどうするかというところをしっかりと表明したほうがよいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>内容を整理して1月にアンケートを実施するという方向で皆様ご賛同いただけますでしょうか</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、1月に実施ということで、委員の皆様には短い期間でまたご意見をいただくことになるかもしれませんが、ご協力どうぞよろしく願いいたします。事務局、それでよろしいですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、ありがとうございます。会長からご指摘いただきました行政が何を考えているのかという理念の部分や問題意識などを踏まえて整理させていただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、(4) その他 事務局から他に何かありますか？</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。</p> <p>アンケートの今後の流れについて補足説明させていただきます。会長がおっしゃられたとおり、アンケートの校正を行います。</p> <p>皆様のお手元に意見書ということで用紙をご用意しております。現アンケート案につきましてご意見がございましたら、短期間で恐縮ですが12月6日までにお寄せいただければと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>なお、本日ご欠席の委員の皆さまにも、同じように資料を送付させていただきまして、ご意見があれば頂戴したいと考えております。</p> <p>最終的な取りまとめにつきましては、本会議の会長・副会長のほうに、ご一任をいただければと考えているところでございます。</p> <p>12月中に皆様のご意見を反映したものをつくりまして、最終的には年明け1月初旬に発送、1月末までの期日でアンケートを実施したいと考えております。発送件数としては、商工業の対象が約5900件、農業者が約120件の予定でございます。補足は以上です。</p> <p>続きまして、次回の第4回の会議につきましては、年明けの3月下旬を予定しております。1月に実施します事業者アンケートの結果、それから基礎調査の分析結果等を踏まえまして、次期ビジョンの骨子と検討を予定しております。日程が決まり次第、あらためて皆様にはご連絡をさせていただきたいと思っております。</p> <p>以上で議事を終了いたします。 進行を事務局にお返しいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>5 閉会</p> <p>以上で、すべての提出関係、その他報告事項が終了となります。長時間にわたりました、ありがとうございました。本来であれば、副会長から閉会のご挨拶をいただくところですが、本日欠席でございますので、司会のほうで閉会をさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>